

カリフォルニアの風（10月「後期スタート」号）

「ともだちをたいせつに」「本を好きに」

後期がスタートしました。

先日、サンノゼ校におじゃまして、子供たちに次の詩を贈りました。

ともだち

須永 博士

ともだちをたいせつにするひとがいます  
ともだちをきずつけるひとがいます  
あなたはどちらをするひとになりますか

いきてつらいことやさみしいことがあったとき  
いちばんうれしいのは  
ともだちがやさしくしてくれることです  
ちからをかしてくれることです

あなたはぜったい  
ともだちを  
たいせつにするひとになってほしいのです  
あなた ともだちとなかよくしてね

前期末から後期はじめにかけて、古本市を開いていただきありがとうございます。

集中力が衰えない若いうちに本をたくさん読んでもらいたいと思っています。

本を読むことが好きになるには、

身近なところに本があることがたいせつです。ジャンルを問わず、本をたくさん読むようになれば、そのうちに自分の好みや目的にあった本を選ぶようになります。

そして人とのふれあいがたいせつです。人とふれあう中で、本で知ったことを生かし、身に付けていきます。

古本市で本を好きになるようはたらきかけて、家庭で親子が同じ本を読んで、感想を語り合うようなふれあいを増やすことが、本を好きになる「かぎ」になると思われます。親御さんに読書の習慣があるご家庭は、お子さんに読書の興味を育てています。秋の夜長のすごし方の一つに、寝る前の15分間、親子での「読書タイム」というのはいかがでしょうか。

改めまして、いつも、学校運営にご協力くださりましてありがとうございます。